

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）

A：十分達成できている

B : おおむね達成できている

C : やや不十分である

D : 不十分である

学校名	神崎市立神崎中学校	C: やや不十分である D: 不十分である
1 前年度 評価結果の概要	・「対話」を取り入れた授業づくりを行い、一定の成果が出た。 ・「自他の良さに気づき認め合える生徒の育成」に向けた道徳教育の充実を目指し、ローテーション道徳を実施した。今後も組織的・計画的に取り組んでいく必要がある。 ・活力ある学校づくりのための生徒会活動の活性化については、引き続き取り組んでいく必要がある。	
2 学校教育目標	「純美にしてファイトに富む学校」 ～生きる力を身に付け、自ら未来を拓く生徒の育成～	
3 本年度の重点目標	①「対話」を取り入れた授業づくりによる学力向上 ②心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成を目指して、「対話」を取り入れた道徳教育の充実 ③活力ある学校づくりのための生徒会活動の活性化	

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・マイプランをもとにPDCAサイクルで取り組む。 ・全職員で神埼プランの徹底を図る。							
	○（学校独自重点取組・任意）	○（学校独自成果指標・任意）	・							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳性アセスメント「HUMAN」の「生命の尊さ」、「相互理解・寛容」の一般的に望ましい道徳的心情を全国平均以上にする。	・ティームティーチングによるローテーション道徳で、「対話」を重視した道徳の授業を展開し、心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成を目指す。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校が楽しいと感じている生徒」を80%以上にする。 ○Q-Uの侵害行為認知群を8%以下に、非承認群を20%以下にする。	・生活実態アンケートや教育相談を実施し、いじめの早期発見、早期対応を目指す。 ・Q-U等の結果をもとに、きめ細かな指導の充実に努める。							
	○（学校独自重点取組・任意）	○	・							
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	○「健康や体力の向上に力を入れている生徒」90%以上を目指す。 ○「毎朝朝食を食べて登校する生徒」100%を目指す。	・学習や生活に関するアンケートを実施し実態把握を行い、それをもとに、指導改善に努める。 ・保健体育の授業で、心と体について理解を図るとともに、保健便り等を通して基本的生活習慣の確立に向けて、生徒、保護者への啓発に努める。							
	○（学校独自重点取組・任意）	○（学校独自成果指標・任意）	・							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・会議資料の事前配布による会議時間の短縮に努める。 ・掲示板機能を生かした見える化に努め、見通しをもって業務に取り組ませる。							
	○（学校独自重点取組・任意）	○（学校独自成果指標・任意）	・							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○「対話の場面」を授業に取り入れた授業づくりによる学力向上	○「対話の場面」を授業に取り入れた授業づくり	○全教科において「対話の場面」を授業に取り入れた授業づくりを行い、自分の考えを伝えたり、聞いたりできる。	・「対話」の進め方についてルールを周知徹底し、自分の考えを伝えられるようにする。また、いろいろな人と交流できるようにする。							
○心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成を目指して、「対話」を取り入れた道徳教育の充実	○ティームティーチングによるローテーション道徳で、「対話」を重視した道徳の授業を展開	○ティームティーチングによるローテーション道徳で、「対話」を重視した道徳の授業を展開し、心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成を目指す。	・ティームティーチングによるローテーション道徳で、「対話」を重視した道徳の授業を展開し、全ての内容項目を網羅し、心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成を目指す。							
○活力ある学校づくりのための生徒会活動の活性化	○規範意識の向上	○「ルールを守ろう」と意識し、学校生活を送ることができる生徒80%を目指す。	・生徒会が自律的に活動できる環境づくりと生徒集会等で積極的な情報発信に取り組む。 ・「出番・役割・承認」の場を設定するなど、開発的生徒指導に取り組む。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	---